

かさまつ応援寄附金（ふるさと納税）活用実績報告書



ICT機器を使用した授業



ALT（外国語指導助手）による英語の授業



購入した学校給食センタートラック

昨年引き続き教育環境の整備に活用しました。

笠松町長 広江 正明

毎年「ふるさと納税」制度を利用し、全国の皆様から「笠松町」へ多数のご寄附をいただきましたことに心からの感謝を申し上げます。平成28年度には

2,768件、総額30,813,001円のご寄附を

笠松町長 広江正明

いただきました。本当にありがとうございます。

ここ笠松町は濃尾平野の北東部に位置し、木曾川を隔てて愛知県と接する県境で、約22,000人が暮らす閑静な住宅街が広がるまちです。面積が10.30km²と県内で3番目に小さく、その3分の1が木曾川という小さなまちに、3つの小学校と1つの中学校があり、たくさんの児童生徒が毎日学業に励んでおります。その子どもたちが、未来の笠松町を支えてくれる大人になってほしいという思いから、昨年に引き続き、皆様からいただいたご寄附を教育環境の整備に活用させていただきました。継続事業といたしまして、電子黒板をはじめとしたICT機器整備による「情報教育ネットワーク事業」と、国際色豊かな子どもたちに成長することを願い外国人英語指導による「特色ある教育活動推進事業」。2つの継続事業に加えて、児童生徒に安全で安心して食べられる給食をお届けできるよう「学校給食センタートラックの購入」に活用させていただきましたので報告させていただきます。

「清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市」の実現に向け、また皆様の“もうひとつのふるさと”笠松町への変わらぬ応援をいただけるよう、誠心誠意努力いたす所存でありますので、どうぞ、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年2月

1. かさまつ応援寄附金（ふるさと納税）の状況

年度	合計		うち県内の皆様		うち県外の皆様		基金利息 (円)
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
H20	20	605,000	17	515,000	3	90,000	—
H21	14	347,888	13	322,888	1	25,000	1,512
H22	85	1,673,001	15	303,000	70	1,370,001	668
H23	110	1,395,140	26	425,140	84	970,000	791
H24	464	5,000,998	62	1,029,443	402	3,971,555	1,002
H25	3,550	29,058,245	148	1,737,000	3,402	27,321,245	2,256
H26	5,022	36,931,001	238	2,134,000	4,784	34,797,001	72,517
H27	5,716	51,855,050	337	4,110,000	5,379	47,745,050	98,699
H28	2,768	30,813,001	288	4,175,001	2,480	26,638,000	122,104
計	17,749	126,866,323	1,144	14,751,472	16,605	142,927,852	299,549

平成26年度活用事業 「笠松町公共施設巡回町民バス」購入事業 34,487,480円
 平成27年度活用事業 「街路灯(LED防犯灯)」購入事業 16,036,920円
 平成28年度活用事業 「情報教育ネットワーク事業」「特色ある教育活動推進事業」
 20,359,080円

平成28年度末「かさまつ応援基金」現在高 **87,095,393円**

図1：寄附件数の推移

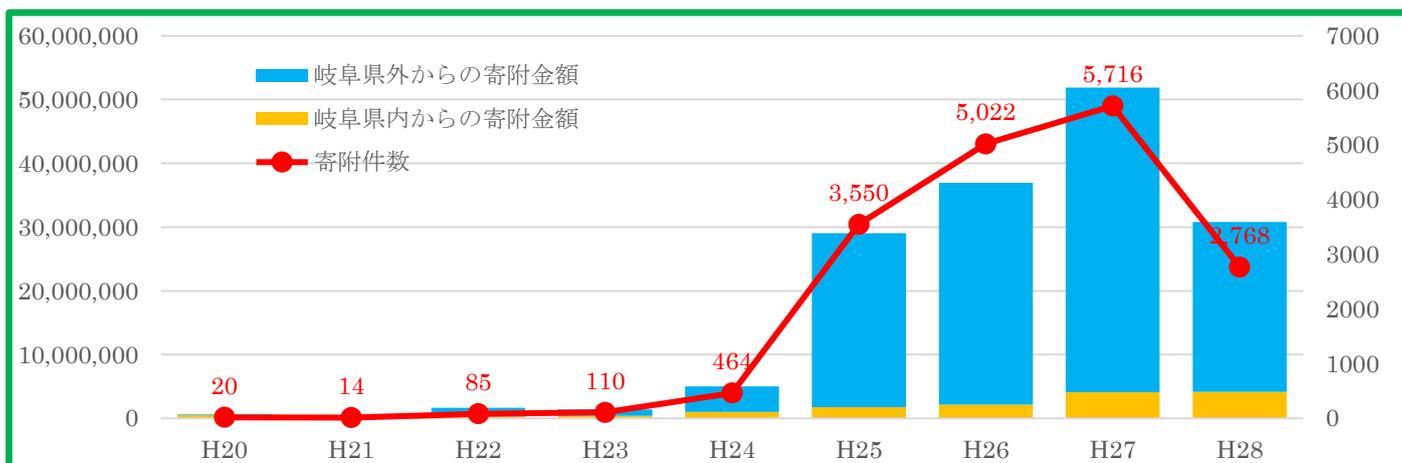
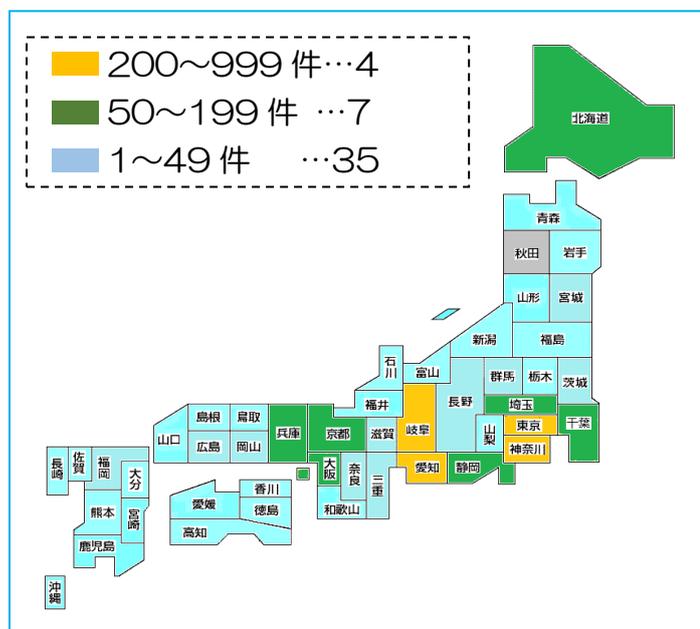


図2：平成28年度 都道府県別寄附状況



笠松町は、平成20年に「かさまつ応援基金条例」を制定し、皆様からいただいた寄附金をこの基金に積み立てて毎年新たな事業に活用しています。

また、地元高校生発案のアイデアを取り入れ、地元事業者とともに“産学官”で取り組むパートナー事業では、ご寄附いただいた皆様に感謝の気持ち「ふるさとかさまつ宅配便」をお届けしており、平成28年度までの9年間の累計で、【24,906個】のお礼の品を、全国の皆様にお届けすることができました。

2. 学校給食センタートラック の概要



(1) 使用車両：日野 2トントラック（平成29年12月納車）

荷室の側面に給食の配膳係の服装をした、笠松町のマスコットキャラクターの「かさまるくん」と「かさまるちゃん」を描いています。

また、後面には、スプーンとフォークをもって給食を待っている「かさまるくん」と「かさまるちゃん」が各トラックに1体ずつ描かれています。



(2) 購入財源：すべて「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」を活用しました。

購入金額 2台で 1,034万円

荷室側面・後面に皆様からのご寄附で購入したことを記載しています。

このトラックは「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」を活用して購入しました

(3) 運行状況

平成 30 年 1 月から、購入した給食センタートラックを使用しています。毎日、3 つの小学校と 1 つの中学校の児童生徒約 2,000 人分の給食をコンテナに積み込み、センターから各学校に安全に運搬しています。

なお、笠松町の学校給食センターは、今年の 4 月から新しい施設で稼働します。より安全で安心して食べていただける給食を子どもたちに提供し、心も体も健康な生活を過ごしていただけるのを願っています。



ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合に参加しました

笠松町は、平成 29 年 5 月に自治体連合設立の呼びかけを行った福井県知事ら 27 自治体の首長が発起人となった「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」に、発起人の 1 自治体として参加しました。

現在、返礼品ありきで、高所得者優遇といわれるふるさと納税制度ですが、本来の趣旨は【寄附者の意思で納税先や使い道を選ぶことができる制度】です。この連合に参加する自治体は、その趣旨を都市、地方を問わず広く全国の自治体、国民に伝えるため、志を同じくする自治体の集まりです。具体的な活動としては、ふるさと納税の本来の趣旨を記載したパンフレットの作成や、寄附金を活用し、地域の活性化につなげた優れた取組事例の表彰などを行い、ふるさと納税の一層の普及拡大を図っています。

今後も、ふるさと納税制度が本来の趣旨に立ち返り、さらに発展していくものとなるよう、連合に参加している全 74 自治体(平成 30 年 1 月現在)と連携しながら取り組んでいきます。

平成 29 年 12 月からふるさとチョイスからの寄附申込を開始しました

笠松町では、ふるさと納税でいただいたご寄附をすべてまちづくりの事業に活用できるようにするため、有料広告やポータルサイトなど、費用の掛かることはせず、無料で掲載していただける雑誌や、イベント会場などで当町を PR してきました。一回で何十万もする広告や、寄附額の何パーセントが手数料となるポータルサイトを利用すれば、多くの方の目に留まり、寄附をいただける方が増加する可能性はありますが、せっかく笠松町のためにといただいたご寄附を、より有効的に活用させていただきたいとの思いから、ポータルサイトを利用しておりませんでした。

しかし、多くの寄附者から「ふるさとチョイス」から申し込めるようにしてほしいなどのご意見をいただき、また、当町の HP からの申し込みだけでは、手続きが少し煩雑である点と、ポータルサイトを利用している他の自治体に比べて PR 力に欠けるといふ点から、ポータルサイトを活用していこうという方針に変わり、昨年 12 月から寄附申込を開始しました。

今後も、皆様から変わらぬ応援をいただけるよう精一杯取り組んでいきます。引き続き、笠松町への温かい応援をよろしく願います。

笠松町ふるさとチョイス

